

きらり

市立大町総合病院 広報誌

大町病院

vol.63

2026.9.1

自由に持ちください

特集 大町市国保 八坂診療所の紹介

◆救急の日に覚えよう。
大切な人を守る合言葉 FAST

◆糖尿病治療の最新情報

◆年に一度、自分の体と向き合う機会を
ー 特定健診のすすめ ー

◆看護部のご紹介

◆寄り添う医療の緩和ケア
／病院祭開催のお知らせ

◆介護保険施設の紹介
特別養護老人ホーム カトレヤ



写真：八坂診療所（関連記事 2-3 ページ）



大町病院ホームページ

診療所紹介

大町市国民健康保険 八坂診療所

大町病院との関わりや診療所の特色をご紹介します

地域のみなさまと
共に歩む診療所

八坂診療所は1980年に八坂村国民健康保険直営診療所として創設されました。地域医療を支えることを目的として作られ、合併後は市が運営を引き継ぎ、2024年には施設を新築移転し、地域のみなさまと共に歩む診療所として切れ目のない運営に努め、現在に至ります。



八坂地域の医療に長きにわたって貢献してこられた戸部道雄先生が2024年8月にご退任されて以降、常勤医師を募集中ですが、なかなか応募のない状況のため、市立大町総合病院からの医師派遣により週2.5日の診療を行っています。地域のみなさまが希望される毎日診療を受けられる状況ではありませんが、診察、緊急時の対応、訪問診療、健康診断、予防接種、さら

に学校医として子供たちの健康も担っています。



八坂診療所長 駒瀬 医師

全国的には地域に根ざした多くの診療所で同じようなことが起こっており、医師が高齢化するために代わりの医師がいらない、あるいは若い医師が一人で支えることが難しい状況となっています。医師のみでなく、看護師、事務職員も十分とはいえず、診療所を休止せざるを得ない例もあるようです。



八坂診療所 田川 医師

市立大町総合病院では、八坂地区の医療を持続可能なものとするために、医師の派遣をおこなうと同時に役割分担を行い、入院治療が必要な患者さんについては大町病院で対応し、退院したらできるだけ早く八坂での生活に戻れるように診療所へ紹介、診療所にこられない体調の方については訪問診療なども行っています。

今後、診療所はどのように維持していったら良いでしょうか？先日同じような問題を抱える岐阜県の北部地域の状況を勉強しにに行ってきました。この地区は国保白鳥病院を中心とした「県北西部地域医療ネット」という先進的な取り組みを行なっています。郡上市、高山市、白川村など行政とも協力し、白鳥病院が中心となって10ヶ所の診療所、歯科診療所へ医師や看護師を派遣したり、オンライン診療を行ったりしています。一つの診療所で医師や看護師を募集するのではなく、地域全体として診療所を支え役割分担をする仕組みは、万一診療所の医師や看護師が体調を崩しても安心して休みを取ることができます。地域の安心も守り、医療者の健康も守ることができる仕組みは今後大町市でも必要になるのではと考えています。



現在八坂診療所では、「病気になったら治療する」だけでなく、「病気を予防する（ワクチン接種、禁煙など）」や「健康を維持し住み慣れたところで暮らす（健康体操、食事療法など）」を目標としています。そのための仕組みづくりも大町市や大町総合病院と相談をしています。

地域のみなさまには、予防接種や健康診断などを通じてさらに診療所を盛りたてていただければと思います。12月には「診療所まつり」も予定しておりますので、楽しみにしてください。

○八坂診療所ではアレルギーに関するご相談も受け付けております。

花粉症や通年性のアレルギー性鼻炎に対する舌下免疫療法、長引く咳の診断・治療、重症喘息の診断・治療、アナフィラキシーの診断、治療を行っています。

詳しい検査は、大町病院で行います。詳細はお問い合わせください。

大町市国民健康保険 八坂診療所 電話番号0261-26-2814



Facebook



Instagram

国保八坂診療所の日常をお知らせするSNSです。
ぜひご覧ください。

救急の日に覚えよう。 大切な人を守る合言葉 FAST(ファスト)



脳卒中の疑いがあるかどうかを誰でも簡単にその場で判断できる指標

毎年9月9日は「救急の日」です。私たちは、いつ大切な人の救急事態に直面するか分かりません。本日は、突然襲ってくる恐ろしい病気「脳卒中」から命を救い、後遺症を軽減するために重要なキーワード「FAST (ファスト)」についてお伝えしたいと思います。

脳卒中はある日突然、何の前触れもなく脳の血管が詰まったり、破れたりする病気です。発症すると、1分1秒を争う一刻の猶予もない状態になります。治療が早ければ早いほど脳へのダメージを減らし、命を救い、その後の後遺症を軽くすることができます。

そこで、脳卒中の疑いがあるかどうかを誰でも簡単にその場で判断できる指標が「FAST (ファスト)」です。アルファベット4文字の頭文字をとったものです。

Face



最初の「F」は Face、
顔の「麻痺」です。

笑顔を作ったときに、片方の口角や顔の半分が下がってしまう、あるいは引きつって左右対称にならない状態を指します。

Arm



次の「A」は Arm、
腕の「麻痺」です。

両腕を前にまっすぐ高く上げたとき、片方の腕に力が入らずに、だらりと下がってしまう状態です。

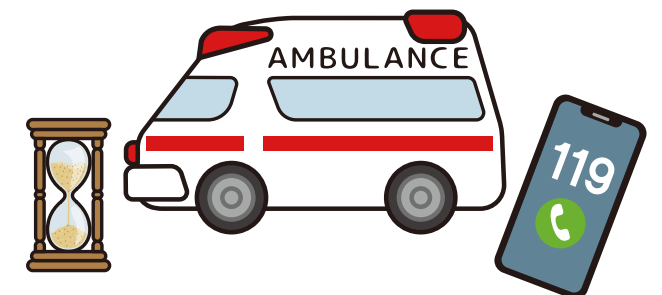
Speech



3つ目の「S」は Speech、
言葉の「障害」です。

ろれつが回らなかったり、普段通りに言葉がうまく出てこなかったり、相手の言うことが理解できなかったりします。簡単な短い文章を普段通りに発音できるかどうかが目安です。

Time



最後の「T」は Time、
発症の「時刻」と「時間との戦い」です。

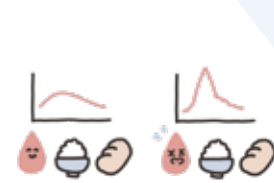
これら3つの症状、顔・腕・言葉のうち、たとえ「1つ」でも当てはまるものがあれば、すぐに発症した時刻を確認し、迷わず「119番」で救急車を呼んでください。

脳卒中は痛みを伴わないこともあり、「しばらく様子を見よう」と自宅で休んでしまう方がいます。

しかし、その様子を見ている時間こそが、脳の細胞を死滅させてしまう最も危険な時間です。自分の体、あるいは目の前の家族や大切な人に、いつもと違う異変を感じたら、この「FAST」を思い出してください。「顔のゆがみ」「腕の脱力」「言葉のおかしさ」に気づいたら、時間は待ってくれません。

皆様の迅速な「FAST判断」と、迷わない119番通報が、大切な人の未来と命を救います。救急の日をきっかけに、ぜひこの言葉を覚えて、万が一の備えとしてはいかがでしょうか。

糖尿病治療の最新情報

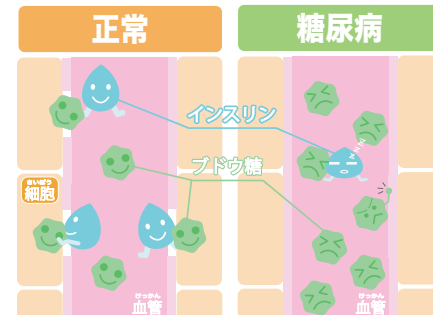


適切な治療と
生活習慣の改善を

～健康寿命を延ばすために、今できること～

総合診療科 縣

糖尿病は、血糖値が慢性的に高くなる病気です。初期には自覚症状がほとんどないため、健診で初めて指摘される方も少なくありません。しかし、高血糖の状態が続くと全身の血管が少しずつ傷つき、さまざまな合併症を引き起こします。日本では糖尿病患者さんが増加しており、早期発見と適切な治療がますます重要になっています。



近年の糖尿病治療は、「血糖値を下げること」だけが目的ではありません。最新のガイドラインでは、患者さん一人ひとりの年齢や生活環境、心臓病や腎臓病などの合併症を考慮しながら、**健康寿命を延ばし、生活の質（QOL）を維持することが大きな目標**となっています。そのため、食事療法や運動療法を基本としながら、それぞれの患者さんに適した薬を選択して治療を行います。

近年注目されている治療薬の一つが**GLP-1受容体作動薬**です。GLP-1は食事をすると腸から分泌されるホルモンで、血糖値が高いときにインスリンの分泌を促し、食欲を抑えたり胃から食べ物が送り出される速度を緩やかにしたりする働きがあります。そのため、血糖値の改善だけでなく体重減少も期待でき、さらに心筋梗塞や脳卒中などの心血管疾患リスクを減らす効果も報告されています。現在では週1回の注射薬や内服薬も選択でき、患者さんの生活スタイルに合わせた治療が可能になっています。

高齢者の糖尿病治療では、「血糖値を下げすぎないこと」が重要です。厳格な血糖コントロールによる低血糖は、転倒や骨折、認知機能の低下、不整脈などにつながる可能性があります。そのため現在のガイドラインでは、年齢や認知機能、日常生活動作（ADL）、併存する病気などを考慮し、患者さんごとに目標値を設定することが推奨されています。元気に生活を続けられることを第一に考えた治療が大切です。

糖尿病で最も注意が必要なのは合併症です。三大合併症には、失明の原因となる**糖尿病網膜症**、透析が必要になることもある**糖尿病腎症**、手足のしびれや感覚低下を起こす**糖尿病神**

経障害があります。また、動脈硬化が進みやすくなるため、心筋梗塞や脳梗塞などの血管疾患のリスクも高まります。近年では、糖尿病のある方は一部のがんの発症リスクが高くなることも知られています。高血糖や肥満、慢性的な炎症などが関係していると考えられており、適切な血糖管理に加えて、年齢に応じたがん検診を受けることも大切です。

合併症を予防するためには、薬だけに頼るのではなく、生活習慣を整えることが欠かせません。適正体重を維持し、野菜やたんぱく質を取り入れたバランスの良い食事を心がけ、無理のない範囲で毎日体を動かしましょう。また、禁煙や十分な睡眠も血糖コントロールに役立ちます。定期的な血液検査に加え、眼科受診や尿検査、足のチェックを継続することで、合併症を早期に発見し、重症化を防ぐことができます。

糖尿病は完治を目指す病気というより、上手に付き合っていく病気です。医学の進歩により治療の選択肢は大きく広がっています。健診で血糖値の異常を指摘された方や、糖尿病が気になる方は放置せず、早めに医療機関へ相談しましょう。

最新の治療の考え方

- 血糖値を下げるだけでなく、合併症を防ぎ、健康寿命を延ばすことが目標です。
- 年齢や合併症、生活状況に合わせて、薬や目標値を個別に設定します。
- 食事・運動・薬物療法を組み合わせて治療します。

注目のGLP-1受容体作動薬

- 食欲を抑え、血糖を改善
- 体重減少効果も期待
- 心筋梗塞や脳卒中のリスクを減らす効果も
- 週1回の注射薬や飲み薬もあります

医師と相談しながら、自分に合った薬を選びましょう。

高齢者の血糖コントロール

- 下げすぎると低血糖を起こし、転倒や骨折、認知機能低下などのリスクが高まります。
- 年齢や認知機能、生活状況などを考慮し、「下げすぎない治療」も大切です。

合併症とがんのリスク

三大合併症：網膜症、腎症、神経障害。動脈硬化による病気：心筋梗塞・脳梗塞などのリスクが高まる。

糖尿病のある人は、肝がん・膵がん・大腸がんなど、一部のがんのリスクが高くなることが報告されています。

合併症を予防する生活習慣

- バランスの良い食事：野菜やたんぱく質をしっかりと、甘いものや食べすぎに注意。
- 定期的な運動：ウォーキングなどの有酸素運動を毎日30分程度を目安に。
- 禁煙：たばこは血管を傷つけ、合併症を進めます。
- 十分な睡眠・ストレスをためない：睡眠は血糖コントロールにも大切です。

定期的な検査・受診を

- 血液検査（HbA1cなど）
- 尿検査（腎症のチェック）
- 眼科受診（網膜症のチェック）
- 足のチェック（神経障害・足病変の予防）

早期発見・早期治療が合併症予防の第一歩です。

糖尿病は、正しい知識と生活習慣、そして治療の継続で、健康な毎日を送ることができます。

年に一度、自分の体と向き合う機会を － 特定健診のすすめ －

総合診療科 田川



健康な今だからこそ受けた「特定健診」

みなさんは特定健診を受けていらっしゃいますか？高血圧や糖尿病、脂質異常症、がんなどの生活習慣病は、自覚症状がないまま進行し、心筋梗塞や脳卒中、腎臓病、肺がんや大腸がんなどの重大な病気につながる可能性があります。特定健診は、これらの病気のリスクを早い段階で見つけ、生活習慣の改善や適切な治療につなげることを目的とした健診です。

「体調に問題ないから大丈夫」と思っている、健診で初めて異常が見つかることは少なくありません。症状がない今だからこそ受けることに大きな意味があります。

大町市も受診率向上を目指しています

大町市では、市民の皆さんが健康でいきいきと暮らし続けられる地域を目指し、特定健診受診率の向上に取り組んでいます。第四期特定健康診査等実施計画では、令和11年度までに受診率60%以上となるよう段階的な目標を掲げています。毎年健診を受けることは、ご自身の健康を守るだけでなく、生活習慣病の重症化を防ぎ、健康寿命を延ばすことにもつながります。ぜひ年に一度、ご自身の健康状態を確認する習慣をつけましょう。

がん検診・骨粗しょう症検診も忘れずに

がん検診は、症状が現れる前にがんを発見し、早期治療につなげるための大切な検診です。また骨粗しょう症検診では、骨折の原因となる骨量の低下を早期に見つけることができます。背骨の圧迫骨折や太ももの付け根の骨折は、身体の機能を著しく低下させ、要介護状態となる主な原因です。そのため骨粗しょう症の予防が大切になります。特定健診とあわせて受診することで、より総合的な健康管理につながります。

健診は身近な医療機関で受けられます

特定健診や各種がん検診、骨粗しょう症検診は、当院だけでなく、市内や近隣自治体の実施医療機関や集団健診で、ご都合に合わせて受診場所をお選びいただけます。

当院の健診センターをご活用ください

当院の健診センターでは、大町市が実施する特定健診をはじめ、協会けんぽなどの職場健診、各種がん検診や骨粗しょう症検診にも対応しています。また当院へ通院中の方は、健診結果が電子カルテに取り込まれるため診療に活用しやすく、日頃の診療とあわせて継続した健康管理を行うことができます。

健診は病気を見つけることだけが目的ではありません。健診結果を今後の生活や治療に活かし、「健康で暮らし続ける」ための第一歩として、ぜひ毎年受診してください。

知っていますか？ 大町市の健診目標

- 対象：40歳以上74歳までの公的医療保険加入者（被保険者・被扶養者）
- 大町市の目標：令和11年度 特定健診受診率60%以上
- 年に1回の健診で生活習慣病を早期発見
- がん検診・骨粗しょう症検診も一緒に受診しましょう



看護部のご紹介

地域の皆さまに頼っていただけることが、私たちの何よりの励みです



私たちは、地域の皆さまが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、院内外のさまざまな専門職と連携し、一人ひとりに寄り添った看護・介護を実践しています。

私たちの取り組み

24時間365日、地域の皆さまの暮らしと安心を支えています。私たちは、病気や治療だけでなく、その人らしい生活を大切にしたい看護・介護を実践しています。患者さん一人ひとりの思いに寄り添いながら、安全で安心できる療養環境づくりに努めています。病室で過ごすのではなく、多職種が協力しながら、楽しみや、ほっとできるひとときを感じられる時間を大切にするなど、食事や排泄、清潔ケア、リハビリなど、日々の生活を支えています。緊急時などやむを得ない場合を除き、原則として身体的拘束を行いません。

どの時間帯でも一定水準以上の看護を提供できるよう、看護体制の整備と教育の充実に継続して取り組んでいます。在宅で介護をされているご家族が、急病やけがなどで一時的に介護が困難となった場合には、レスパイト（介護者支援）入院にも対応しています。さらに、診療看護師、認定看護師、特定行為研修修了看護師をはじめとする専門的な知識・技術を持つ看護職が複数在籍し、質の高い看護の提供に努めています。



【シミュレーション教育】

一緒に働く仲間を募集しています

看護師 病棟・外来・訪問看護など、活躍の場はさまざまです。ワークライフバランスを大切にしながら、専門分野の資格を活かしやりがいを持って長く働けるよう支援しています。

介護福祉士・看護補助者 患者さんの日常生活を支える大切な役割を担うとともに、看護師のパートナーとしてチーム医療を支えています。資格や免許は問いません。働きながら資格取得を目指す方への支援制度も整えています。

ボランティア 楽器演奏や手芸、話し相手など、ご自身の得意なことを生かして活動していただけます。皆さまの温かな関わりが、患者さんの笑顔や安心につながっています。

地域の皆さまを支える仲間として、
私たちと一緒に働いてみませんか。

働く日数や勤務時間、配属先などは、ご希望を伺いながら一緒に決めていきます。まずはお気軽にお問い合わせください。



【介護サポート会】

お問い合わせ：看護管理室 0261-22-0415

寄り添う医療の緩和ケア

『よくいきばなし in 大町』ご報告 6月27日(土)開催

50～70代の4名で、「死」を深める対話と「生」を深める対話のどちらに沿って対話するかを話し合い、「生」を深める対話することを選びました。

「今から最期の時まで大切にしたいことは何か」をイメージして、様々なカードの中から、「誰かの負担にならない」、「自分が大切にしているものを大切にする」、「必要のないものを手放す」、「人との温かいつながりがある」といったテーマで、一人15～20分間ゆったりと対話し、あっという間の2時間でした。

414 (よいし) カードを用いた対話は、ご自身の思いを言葉にし、他者の死生観に触れることで、これからの人生をさらに豊かにするかけがえのない時間となります。



よくいきばなし in 大町

第2回 開催決定

日時 2026年12月5日(土) 14:00～16:00

場所 市立大町総合病院講堂「さくら」

主催 市立大町総合病院 緩和ケアチーム会

問い合わせ 0261-22-0415 (代表)

ご希望される方は、会場準備のため事前申し込みをお願いいたします。

申し込み時、氏名と電話番号(携帯または自宅)を確認させていただきます。

申込期限 11月30日(月)

病院祭 開催のお知らせ

当院では地域に開かれた、地域とともに歩む病院を目指して第13回病院祭を開催します。

今年度は「みんなのけんこう・みんなの病院～健康・健口・健幸まつり～」のテーマのもと、病気の予防に関わる講演会や、健康に関するブースなどさまざまな企画をご用意しております。

メインイベントでは、地元出身の噺家、二代目華形家八百八師匠の落語で、「笑って健康」になりましょう。たくさんの方のみなさまのお越しをお待ちしております。

日時：9月27日(日) 10:00～14:00 問い合わせ：総務課庶務係 0261-22-0415 (内線：2223)



広報誌掲載内容の一部訂正について(お詫び)

当院広報誌5月号の「糖尿病・慢性腎臓病委員会からのお知らせ」(9ページ)の記事に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

■誤りの内容 糖尿病教室試食会日付 〇正 6月17日(水) ×誤 6月12日(水)

介護保険施設の紹介

大町市 社会福祉法人周厚会

特別養護老人ホーム カトレヤ

高齢化の進展が著しいこの地域において、最後まで住み慣れた地域で生活するためには施設サービスの活用がひとつの選択肢となります。地域の介護関連施設をご紹介します。



施設の概要

平成元年に大町市初の特別養護老人ホームとして開設した当施設は、地域の高齢者の皆さまが安心して暮らせる生活の場として運営を続けています。要介護3以上の方が対象となり、定員は80名(内短期入所4名)で、4人部屋12室、2人部屋6室、従来型個室20室を備え、入所される方の状態やご希望に応じた居住環境をご提供しています。

利用者様への支援としては食事・入浴・排泄などの日常生活の介護に加え、看護師による健康管理や機能訓練を行い、入所者皆さまの暮らしを24時間体制でお支えしています。

施設の特徴

当施設は、北アルプスの名峰・蓮華岳や北葛岳を望む平上原地区の自然豊かな環境にあり、利用者の皆様には四季折々の美しい景色の中で、ゆったりとした時間をお過ごしいただいています。入浴設備の一部には天然温泉(葛温泉)を使用し、心



特別養護老人ホーム カトレヤ

所在地/〒398-0001 長野県大町市平1955番地971

電話/0261-23-0722

サービス内容/特養76名 ショートステイ4名

面会/予約制、原則平日のみ、居室での面会可

URL <http://www.syuukoukai.jp>

E-mail katoreya@syuukoukai.jp

身ともに温まる癒しのひとときを提供しています。

同一敷地内にはカトレヤデイサービスセンターとカトレヤ居宅介護支援センターを併設し、在宅支援から施設サービスまで一貫したサポート体制を整えています。また、大町市北部地域包括支援センターは平木崎を拠点に市北部地域を中心に活動しています。これらの事業は法人全体で約90名の職員により、地域の高齢者支援の一端を担っています。

大町病院との関わり

平成元年の開設当初より、当施設は市立大町総合病院様には協力医療機関としてお世話になっています。当施設の嘱託医師の専門外分野の診療や、総合病院の設備がなければ実施できない精密検査、さらには急患の受け入れなど、利用者様の健康と生命を支える重要な役割を担っていただいています。

こうした医療面での力強いご協力に支えられ、当施設は安心して運営を続けることができおり、日頃より深く感謝しています。

地域の皆さんへ

これまで地域の皆さまに支えられながら、利用者様が安心して暮らせる環境づくりに取り組んでまいりました。これからも自然豊かな大町の地で、地域の皆さまとともに歩み、信頼される施設であり続けられるよう努めてまいります。





2026年9月1日

市立大町総合病院 外来診療表

■受付時間 8:00～11:30 ■休診日 土曜日・日曜日・祝日
 ■診療時間 9:00～17:15 ※診療科によって、受付時間・診療時間及び診療日が異なる場合があります。

診療科	受付・診療時間	月	火	水	木	金
総合診療科（初診外来）	午前 ー	担当医師	担当医師	担当医師	担当医師	担当医師
内科	一般外来	午前 【予約制】 縣 翔子	関口 健二 / 笹澤 裕樹	縣 翔子	田川 哲也 / 菊地 一平 / 縣 翔子	金子 一明
		午後 【予約制】 大津 嘉之 / 木村 颯汰		丸山 夏樹	井澤 将太	柿下 悠
	専門外来	午前 【予約制】 金子 一明 (緩和ケア外来)				
		午後 【予約制】		駒瀬 裕子 (禁煙外来)		担当医師(第1・3週) (ものわずれ外来)
呼吸器アレルギー内科	午前 【予約制】	柳沢 克也 ☆		曾根原 圭 ☆		藤本 圭作
	午後 【予約制】		駒瀬 裕子	駒瀬 裕子		
感染症内科	午後 【予約制】			笹澤 裕樹(ワクチン/読書)		
循環器内科	午前 【予約制】	山本 勇輝 ☆		門田 真 ☆	伊澤 淳 ☆	加藤 太門 ☆
腎臓内科	ー 【予約制】	新津 義文	新津 義文	新津 義文		
血液内科	ー 【予約制】	新津 義文	新津 義文			
糖尿病・内分泌内科	ー 【予約制】		森 淳一郎 ☆(第1・3・5週)		関戸 貴志 ☆	
漢方内科	ー 【予約制】		北原 英幸	北原 英幸		北原 英幸(第2・4週)
リウマチ・膠原病内科	ー 【予約制】		北原 英幸	北原 英幸		齊藤 圭介 北原 英幸(第2・4週)
神経内科	ー 【予約制】					森泉 輝哉 ☆
睡眠障害呼吸器内科	ー 【予約制】		青木 俊樹		藤本 圭作	
小児科	一般外来	午前 ー	松崎 聡	土田 真由香	松崎 聡	信大医師 ☆
	予防接種外来	午後 【予約制】	土田 真由香	松崎 聡		
	乳児健診外来	午後 【予約制】				松崎 聡(第2週) 土田 真由香(第4週)
	発達外来 慢性疾患外来	午後 【予約制】	土田 真由香	松崎 聡	土田 真由香 (第2・4・5週)	松崎 聡
外科	初診外来	午前 ー	平賀 理佐子(受付10:00まで)	高木 哲	平賀 理佐子	平賀 理佐子
	一般外来	午前 【予約制】	高木 哲	高木 哲 / 平賀 理佐子	高木 哲 / 平賀 理佐子	高木 哲
		午後 【予約制】		担当医師	担当医師	
	心臓血管外来	午後 【予約制】				信大医師 ☆(第1・3・4週)
呼吸器外科外来	午前 【予約制】		信大医師 ☆(第1・3・5週)			
整形外科	午前 (受付10:30まで)	金子 稔	伊藤 仁	伊藤 仁	金子 稔	信大医師 ☆ (受付10:00まで)
	【予約制】					金子 稔
脳神経外科	一般外来	午前 ー	青木 俊樹	信大医師 ☆	青木 俊樹	青木 俊樹(受付10:30まで)
		午後 【予約制】	青木 俊樹		青木 俊樹	
	頭痛・めまい外来	午後 【予約制】				青木 俊樹
皮膚科	午前 ー	信大医師 ☆		信大医師 ☆	信大医師 ☆	
泌尿器科	午前 ー	永井 崇 / 野口 渉	永井 崇 / 遠藤 汀奈 (受付10:30まで)	野口 渉 / 遠藤 汀奈 (受付10:30まで)	永井 崇	野口 渉 / 遠藤 汀奈
産婦人科	午前 ー	日比 絵里菜	深松 義人(婦人科のみ)	日比 絵里菜	深松 義人(婦人科のみ)	日比 絵里菜(助産師外来)
	午後 【予約制】	日比 絵里菜	深松 義人(婦人科のみ)	日比 絵里菜		日比 絵里菜(助産師外来)
眼科	午前 【予約制】	平野 隆雄 ☆		知久 喜明 ☆		伊藤 駿 ☆
耳鼻咽喉科	午後 (診療14:00から)	信大医師 ☆(受付15:30まで)		信大医師 ☆(受付15:30まで) (補聴器外来あり)		
形成外科	午後 (診療13:30から)		信大医師 ☆(受付14:30まで)			
特殊歯科・口腔外科	ー 【予約制】	相澤 仁志	相澤 仁志	相澤 仁志	相澤 仁志	相澤 仁志

- 医師名に記されている☆印は、派遣医師となります。
 ■受付時間外で予約のない方は、あらかじめ電話にてお問い合わせください。
 ■予約の変更等は、15時から17時に各外来へお問い合わせください。※産婦人科のみ13時から15時となります。
 ■診察券は、全科共通です。再発行（紛失等）は、有料となります。
 ■再来受付機は、健康保険の確認が3か月以上できていない場合はご利用できません。受付の際は、「③外来受付」にお越しください。

理念

私たちは、地域に密着した温かく誠実な患者に寄り添う医療を実践します

基本方針

- 市民の健康増進、疾病予防に努めます
- 地域包括ケアシステムの中心を担う病院として、医療・介護・福祉の円滑な連携を推進します。
- 市民の皆さんが安心して暮らしていける医療機能の整備・連携を図ります。
- 公共性を確保し、合理的で健全な病院経営を行います。



市立大町総合病院
OMACHI MUNICIPAL GENERAL HOSPITAL

広報誌 きらり大町病院

■発行 市立大町総合病院 ■編集 市立大町総合病院 広報委員会

〒398-0002 長野県大町市大町3130番地

TEL 0261-22-0415 (代)

URL <https://www.omachi-hospital.jp/>e-mail hospital@hsp.city.omachi.nagano.jp

Instagram



Facebook



X